

HopStepJump

<http://toyono-jinjikyō.com/>

1

平成 30 年度（2018 年度）

初任者研修

新規採用者研修 開講にあたって

平成 30 年度（2018 年度）、初任者研修・新規採用者研修に 135 名の先生方をお迎えしました。

豊能地区（豊中市、池田市、箕面市、能勢町、豊能町）は、政令指定都市を除くと、全国で初めて人事権の移譲を受けた市町です。豊能地区の子どもたちのために、皆さんとこの研修を通じて共に学び合えることを嬉しく思います。

さて、この初任研通信は、豊能地区で行う共通研修のアンケートをもとに作成します。研修の中で、何を考えどう感じたのか、一人ひとりが研修を振り返るとともに、受講者の皆さんがつながり合うきっかけになればと願っています。つまり、私たちの学級通信です。また、研修を受講していない方にも、研修の内容を知っていただき、市町実施研修や学校での研修が有機的につながるきっかけになれば幸いです。

☆先輩からのメッセージ

昨年度、初任者研修を受けていた先輩からのメッセージです。1 年間の学びというのは本当に大きいと感じます。日々、子どもたちと向き合い、自分と向き合いながら過ごしてきた先輩たちからの実感のこもったエールです。



初任者の皆様、合格おめでとうございます。

今の率直な気持ちは、「嬉しい」「ワクワク」といった前向きな気持ちと、「緊張する」「どんなことをしないといけないんだろう」という不安な気持ちでいっぱいのことと思います。しかし、その気持ちは一人ではなく、周りの初任者誰もが感じることと思います。私もそうでした。

いざ、仕事が始まると自分が思った以上に大変な事や、どうしたらいいのだろうということが起きます。しかし、そんなときに支えてくれるのが今、周りにいる多くの先生方です。もちろん校内の先輩方も必ず、アドバイスや助言をしてくれます。最初の第一歩として、どんなことでも気軽に話せる人を作ってください。そんな人たちがいるだけで少しホッとします。

そしてなにより、目の前に子どもたちがいます。楽しいこと、頑張らないといけないことを目の前の子どもたちと一緒に考えて、お互いにとってかけがえのない時間を作って行って下さい。

いつか、同じ職場で働けることを心待ちにしています。【小学校】

初任者研修では、学校を離れる研修は時間的にも大変でしたが、改めて講義などを聴くことで、自分自身が振り返り立ち返る良い機会になりました。他の初任の先生方と一緒に受けて話をする中で、自分の自信になった部分もありますし、同じようなことを体験した他の先生から、有意義なアドバイスをもらうことも出来てとても良かったです。

この1年で吸収したたくさんのことは今後の自身の教員人生にとっても役立つと思いました。1年間大変だと思いましたが、頑張ってください。【中学校】

授業づくりに関して研修がたくさんあったことが私にとって、とても勉強になった時間でした。教師にとって授業が一番子どもたちとのつながりで大切だと感じています。授業がうまくいけば生徒との関係も良くなっていくと思っていますから、まずはしっかり自分の授業に磨きをかけていくべきだと感じています。研修で学んだことをまずは、実践していく。そこから自分スタイルに変えていくことが必要だと思います。【中学校】

私は、講師として働いていたこともあり、「謙虚に学ぶ姿勢」を意識した1年だったように思います。また「どんなに辛くても、絶対に子どもたちには、1年目の“やる気は伝わる”」を信条に1年頑張りました。「1年目」という言葉で、相手に心配や不安が生まれる時があります。しかし、それは自分を守ってくれるものでもあり、糧でもあるように感じます。「1年目」を力に、どうか頑張れたらいいなと思います。

そして大切に思うことは、同期の先生たちとたくさん話すことです。はじめ職場では緊張が続き、寝られない日があるかもしれません。そんな時に、同期だからこそ分かる仕事の悩みや楽しさを語り合うことで、それが仕事へのエネルギーになりました。最後になりますが、教師として働く中にも、一つ自分の居場所を見つけて、1年頑張れたら、成長にもつながっていくのかなと思っています。【小学校】



☆先生、あげる！

子どもに対し、叱ることが続いたり、どうしたらいいかと悩んだりしていた時、一人の子どもが「先生、あげる！」と似顔絵つきの手紙をくれました。その時、この子たちのために頑張らないと、この子どもたちが学びたい、成長したい、自分が好きだと言えるような教室を作る担任にならないといけないな、と考えさせられました。子どもは先生の変化にとっても敏感です。どうせならいい影響を与えたい、そう感じた瞬間でした。先生のでいいいな対応一つ一つを子どもが一番見ているなと感じました。だから、頑張れるのだと思います。

☆運動会

普段はけんかばかりで、同じ失敗を繰り返す子どもたちですが、運動会では見事な演技を見せてくれました。本番の、朝礼台から見た子どもたちのいきいきした表情は忘れられません。熱中とはこのことだと強く感じました。子どもたちを熱中させる先生になってください。そして一緒に熱中できる先生でいてください。私もそうありたいです。一緒に働けることを楽しみにしています。【小学校】

自分自身もそうだったのですが一年目は「何がわからないか」がわからない状態だと思います。

私はとにかく周りを見て、近くにいる先生に聞いていました。色んな先生が色んな事を言って下さったときに、どの先生のやり方でやるべきなのか迷ったりすることもあります。自分の考えをちゃんと持っているとのやり方でやっていくかは自然と決まってくると思います。



わからないことがあったら、迷わず相談すると周りの先生方が助けてくれると思います。【小学校】

豊能地区での養護教諭の採用は少なく不安な気持ちもあると思います。私は、他市で講師を経験してからの採用でした。前の職場の方がよかったと思う日が何度もあると思います。慣れ親しんだ職場から違う職場に移動したのだから、そういう感情があって当然の事だと今となっては思います。お互い、自分のことを信じて気長な気持ちで…ぼちぼちいきましょう。

職場が変わり1年が過ぎようとしています。他市とのさまざまな違いに戸惑う事もありましたが、たくさんの先生方に支えられ、1年間を終えることができました。職場環境などの違いに戸惑う事もあると思いますが、子どもたちひとりひとりのために、自分ができることを見つけて仕事をしていきましょう。【養護教諭】

赴任してすぐの頃は、本当に何もわからず、常に不安を感じていたことを覚えています。ですが、いろいろな先生方に声をかけていただき、支えていただいて、本当に心強かったです。みなさんも安心して学校に飛び込んでください。学校で働くということは、大変なこともたくさんありますが、そのぶん、自分のがんばりが何かしらのかたちでそのまま子どもたちの成長につながりますし、そしてそれを日々間近で実感することができる、とてもやりがいのあることだと思います。

さて、わたしたち学校事務職員は、教諭など学校で働いている他の職種の方々と比較すると、子どもたちと面と向かって接するという機会はあまり多くないのかもしれませんが、それでも、授業や学校生活のようすはいつでも見ることができますし、朝のあいさつや掃除の時間、行事など、折にふれてかかわりをもつこともできます。このように、自分たちの仕事が子どもたちにつながっているということを実感でき、これからもがんばろうという気持ちにさせてくれる場面が手をのばせばすぐ届くところにあるところからも、学校という職場は恵まれているなあと感じます。【事務職員】

☆初任者研修の受講にあたって

豊能地区教職員人事協議会は、「子どもとともに学び続ける教職員」をめざす教職員像としています。研修で身につく力は、受講者の「研修への前向きさ」でその幅と深さが異なるといわれています。そこで研修の受講にあたっては、以下の点に気をつけてください。

- ① 「参加する」「受講する」といった受動的な態度ではなく、自ら積極的に「求めていく」心構えで臨む。
- ② 欠席・遅刻の場合は学校を通して、所属市教育センター（豊能町・能勢町は教育委員会）へ連絡する。
- ③ 1年間心身ともに健康で過ごせるよう、体調管理に気をつける。
- ④ 研修会場へは、公共交通機関を利用して参加する。